



柱野小学校



二次元コードから  
閲覧可能です。

## 体験の継続が 地域と学校の歴史をつくる !!

文部科学省は、小学校学習指導要領 解説「総合的な学習の時間編」〈平成29年告示〉の中で、「外部との連携の必要性」について、次のように述べています。『地域の素材や地域の学習環境を積極的に活用したり、児童が地域の一員として地域の人々と共に活動したりすることで、学校と地域との互恵性が生まれ、息長く継続的な外部連携を実現している取組がある。これらの取組は、学校を地域に開くことにもつながり、保護者や地域との信頼関係を築く大きな要因となると共に、学校を核として地域社会も活性化していく“次世代の学校・地域”を創生していくことにもつながる。』

本号では、約40年にもわたり子供と地域住民が、伝統文化を守り続けている柱野小学校を紹介します。

### 社会福祉協議会等と学校が 連携・協働して実施している しめ縄飾り作り！



本校の特徴的な活動の一つです。地域の方の全面的な協力のもとに本校の伝統となっています。本年度から、子供のより主体的な活動となるように材料集めから取り組みました。 <校長>



今年も立派なしめ縄飾りができました。来年もよろしくお祈りします。 <小学生>

〇〇さんのミカン畑です。葉っぱを付けたまま切り取って下さいね。 <地域住民>



ウラジロとりは初めてです。山は急だし、先まできれいなウラジロ探しは大変でしたが楽しかったです。 <小学生>

毎年作っているのので、だいぶ上手になりました。 <小学生>

今は、自作の道具を使って3人で縄を編みます。 <地域住民>



名前は何というのかな。 <地域住民>

そうかね。僕のお祖母ちゃんによく知っているよ。私がね… <地域住民>

僕の名前は、〇〇です。 <小学生>

私が小学生の時も作りました。作り方は変化していますが、地域の方に丁寧に教えてもらったことを今でも覚えています。我が子も体験できて有難いです。 <保護者>

「故郷にあるものを使って作る喜び、長年伝わってきた技術の重みを感じながら、しっかりと習い、できるようになってください。」という校長先生の言葉から始まりました。地域住民のフレンドリーさ、保護者の熱心さ、教職員の感謝の心が溢れていました。“地域とともにある学校づくり”“学校を核とした地域づくり”がそこにありました。

